

## 第10回フォーラム 班別討議テーマ

## テーマ 1 : 空洞調査に係る技術

## ＜概要＞

「街渠下(深さ:300mm程度)や管(径:φ200mm程度)周りの路面下空洞の厚さを非破壊で計測する技術」について、情報交換を行い討議する。

## テーマ 2 : 条件制約のある河川の点検に係る技術

## ＜概要＞

「都市河川において護岸の裏の空洞化や水に浸かっていない部分も含めて点検する技術」「中小河川の電波状況が悪い状況や樹木が繁茂している等条件に制約のある箇所において自律縦等のUAVを用いて点検する技術」(共に軽量で職員等素人でも操作等可能な技術であれば尚可)について、情報交換を行い討議する。

## テーマ 3 : 街路樹の点検に係る技術

## ＜概要＞

「周囲への影響を最小限に抑え(スポットで)根株や根上りを除去する技術」「根上りが起こりにくい施工技術」「本格的な空洞化の調査を行う前の優先度の高い箇所をスクリーニングする簡易な調査技術」について、情報交換を行い討議する。

## テーマ 4 : トンネル点検に係る技術

## ＜概要＞

「近接目視・打音検査の代替となる、精度と費用のいずれも従来点検と同程度の技術、特に浮きや剥離も確認できる技術(優先度の高い箇所をスクリーニング等でも可)」について、情報交換を行い討議する。

## テーマ 5 : 砂防えん堤の点検に係る技術

## ＜概要＞

「定点で劣化や堆砂状況を把握するためUAV等により写真撮影して、撮影した画像を台帳等へ整理する技術」「ひび割れ、天端の摩耗、漏水等の砂防えん堤の劣化状況をUAV等で撮影、解析して位置・寸法・深さを把握する技術」について、情報交換を行い討議する。

## テーマ 6 : 路面性状調査の画像解析に係る技術

## ＜概要＞

「路面性状調査で取得した画像から、区画線の劣化状況を定量的に判定する技術」について、情報交換を行い討議する。

## テーマ 7 : 道路構造物の点検に係る技術

## ＜概要＞

擁壁やカルバート等の構造物の点検において「近接目視ができない場合の、遠方からでも目視点検と同等の診断が可能な技術」「手が届かない箇所でも近接目視と同等の点検が可能な技術」について、情報交換を行い討議する。

## テーマ 8 : 橋梁点検に係る技術

## ＜概要＞

橋梁(形式:吊り橋 橋長:200m程度 道路幅員:全幅5.6m(有効幅員5.0m)車線数:1車線)において「精度、費用が橋梁点検車による点検と同程度で、通行規制を軽減して点検を行える技術(真上も撮影可能なドローンや橋梁点検ロボットカメラ等)」について、情報交換を行い討議する。